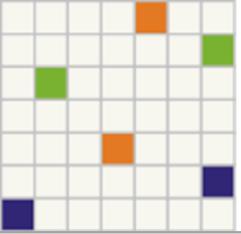
A vertical decorative element on the left side of the page, consisting of a grid of small squares in various colors (orange, green, blue) scattered across a light gray background.

2017年12月期 第2四半期決算説明会

2017年8月24日

株式会社C&Gシステムズ
JASDAQ:6633



目次

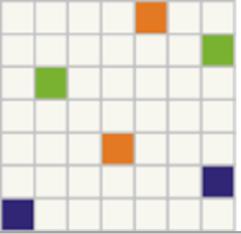
| | |
|-----------------------|------|
| 1. 会社概要 | … 3 |
| 2. 2017年12月期第2四半期決算概要 | … 12 |
| 3. 中長期事業方針の進捗状況 | … 19 |
| 4. 2017年12月期通期業績見通し | … 25 |
| 5. 株主還元について | … 31 |

1. 会社概要



会社概要

| | |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 商号 | 株式会社C&Gシステムズ(JASDAQ 6633) |
| 事業内容 | 金型向けCAD/CAMシステムの開発・販売・サポート |
| 所在地 | (東京本社)東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社)福岡県北九州市八幡西区引野1-5-15 |
| 設立年月日 | 2007年7月2日 |
| 代表者 | 代表取締役社長 塩田 聖一 |
| 資本金 | 5億円 |
| 直近業績 (2016年度実績) | 売上高：44億45百万円／営業利益：4億8百万円 |
| 事業所 | 国内7拠点(東京2ヶ所/北九州/名古屋/大阪/太田/松本) 海外1拠点(インドネシア) 海外事業子会社3社(タイ/カナダ/米国 [金型製造]) |
| 社員数 | 連結:239名 単体:207名 (2017年6月末現在) |



沿革

| | 旧コンピュータエンジニアリング(CE)社 | 旧グラフィックプロダクツ(GP)社 |
|-------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 1978年 | CE社の前身である株式会社西部周防設立(1983年「コンピュータエンジニアリング株式会社」に商号変更) | |
| 1981年 | | GP社設立 |
| 1997年 | | GP社株式店頭(現・東証JASDAQ市場)上場 |
| 2007年 | CE社およびGP社による共同持株会社 アルファホールディングス株式会社(α HD:当社)設立 | |
| 2010年 | CE社およびGP社を α HDに吸収合併、 同時に新商号を「株式会社C&Gシステムズ」として事業会社に移行 | |

社是、経営理念および成長戦略テーマ

- 社是 「生産性の限界に挑戦する」
「技術立国日本を代表する」
- 経営理念 CAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。」
- 成長戦略テーマ 「Global Niche Top」

「金型用CAD/CAM」というニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す



回復を見せる「国内市場」におけるトップ企業

||

金型向けCAD/CAM市場におけるトップ企業

主要製品および導入実績

■ 製品のポジショニングマップ



■ 累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

国内:6,000事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 立松モールド デンソー ヤマハ発動機
 三光合成 三菱重工 マツダ 深江製作所 三井ハイテック 高城精機 エスバンス
 パナソニック オムロン シマノ がまかつ CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機
 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気 ホンダエンジニアリング
 アルプス電気 ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外:1,000事業所

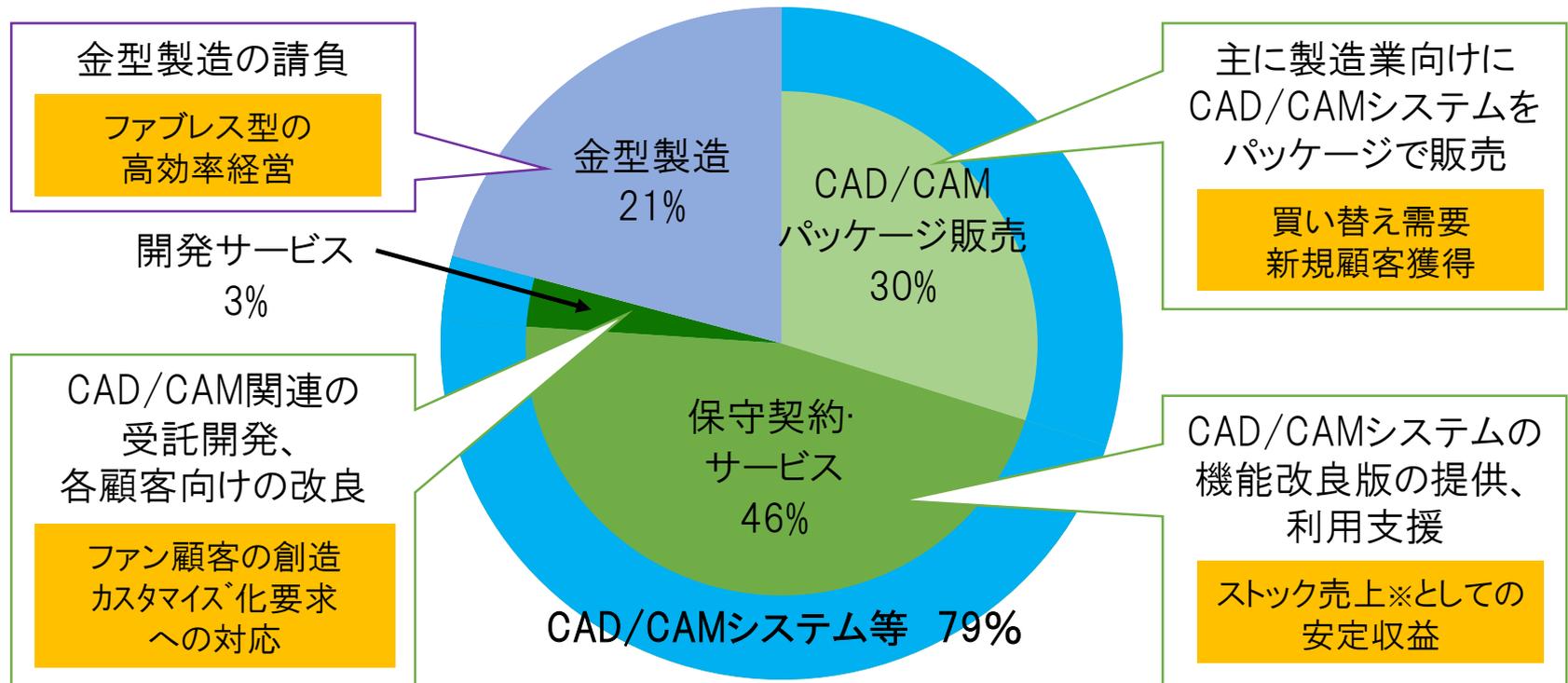
LG電子 サムソン電子 現代自動車
 DOOSAN機械 FOXCONN
 teleflex Medical 友達光電 AMTEK

…その他多数

事業セグメント

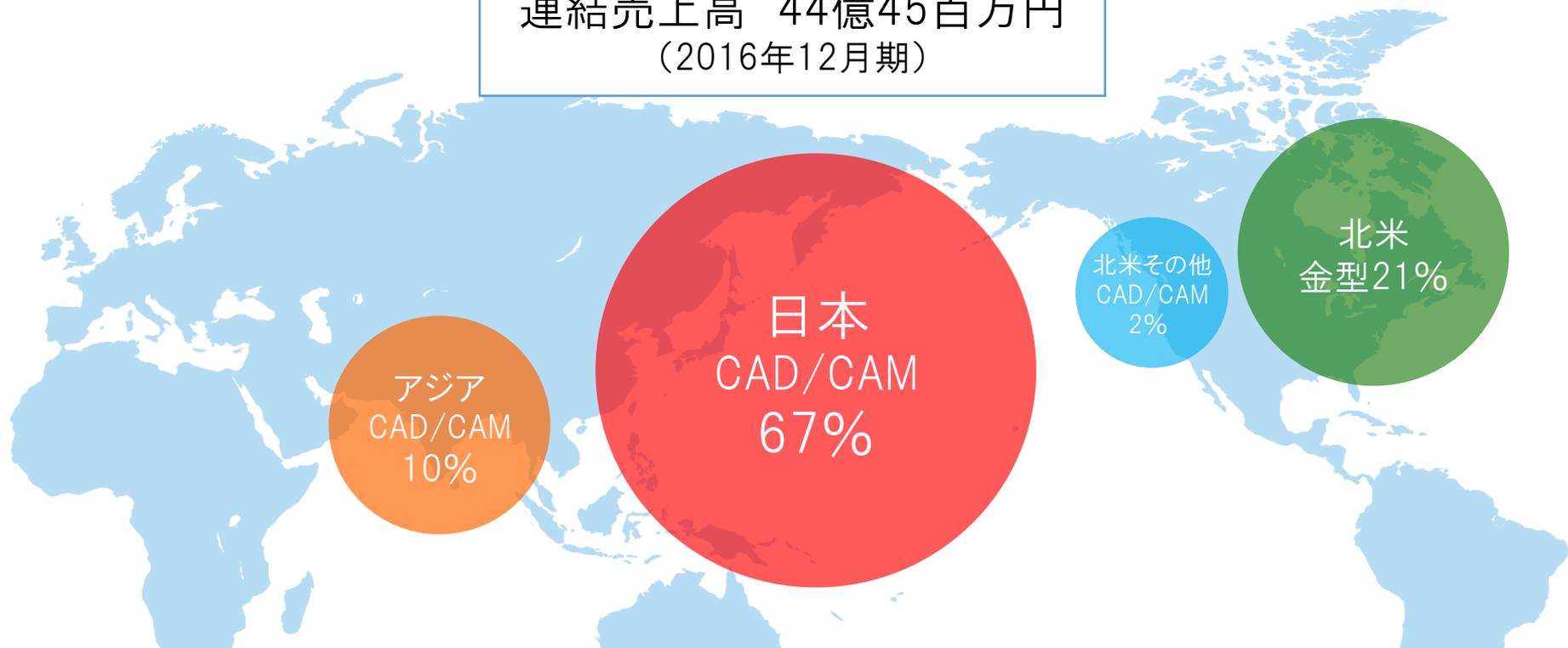
主力事業：金型用CAD/CAMシステムの開発・販売・サポート

【2016年度連結売上高：44億45百万円】



地域別(仕向地別)売上高

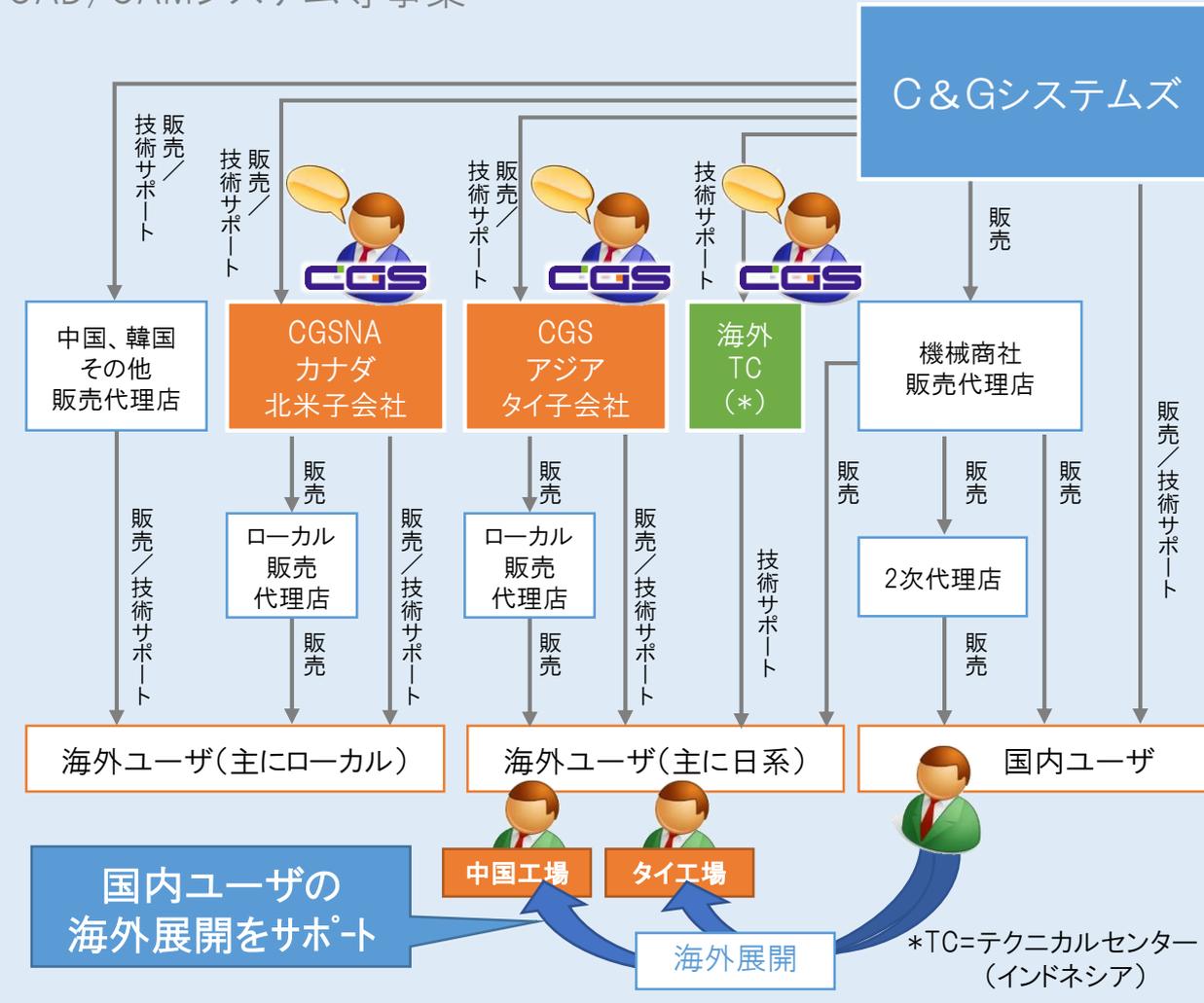
連結売上高 44億45百万円
(2016年12月期)



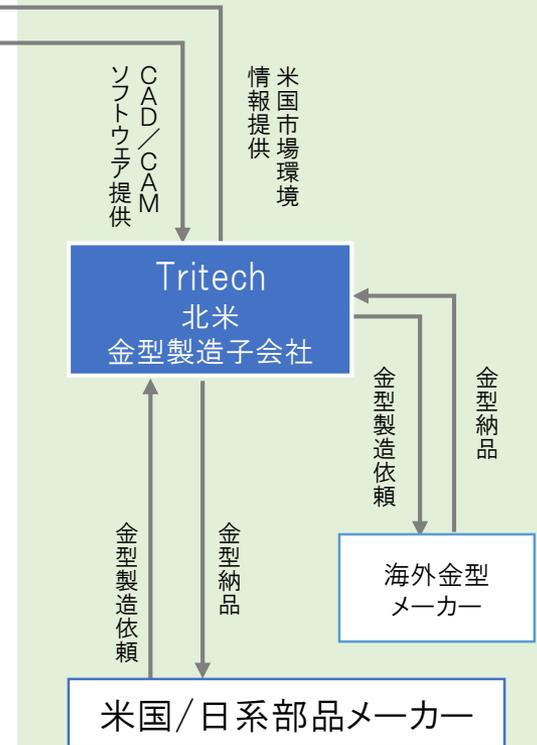
- 海外販売割合(仕向地別)は33%
- CAD/CAMシステム販売については海外進出した日系企業への直接販売が中心
⇒ 今後は海外ローカル企業への間接販売を強化

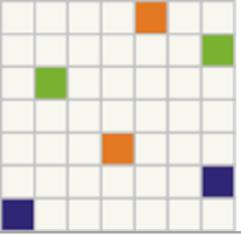
事業系統図

CAD/CAMシステム等事業

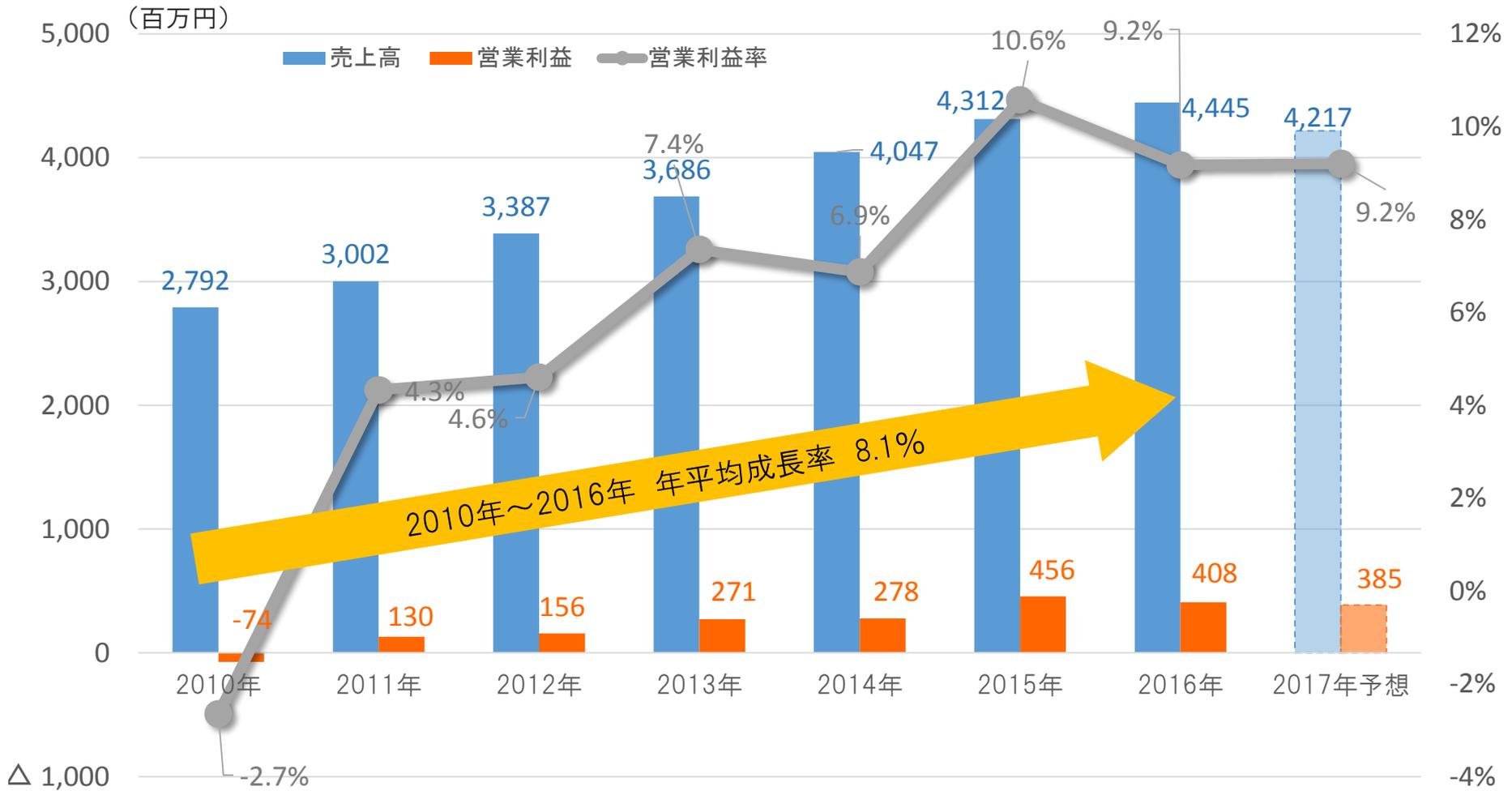


金型製造事業

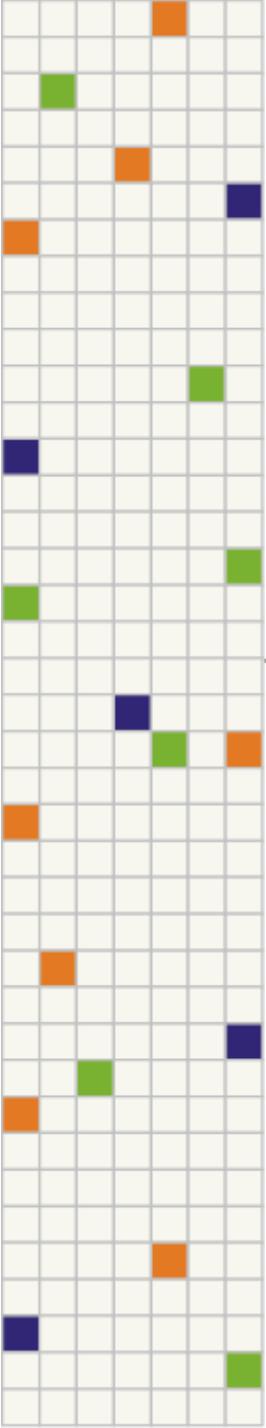




連結業績の推移



2. 2017年12月期第2四半期 決算概要



2017年度第2四半期 決算ハイライト

■ 前期比で減収増益

- 売上高 20億87百万円（前年同四半期比 4.2%減）
- 営業利益 2億33百万円（前年同四半期比 3.6%増）

■ CAD/CAMシステム等事業

- 国内
 - ✓ 「EXCESS-HYBRID II」の販売が好調に推移したほか、政府補助金関連の販売およびOEM関連の売上増加が収益に貢献
 - ✓ 保守売上では高い保守契約率を維持し、上期を通して堅調に推移し
- 海外
 - ✓ 製品販売はインドネシア・ベトナム等の地域で堅調に推移、タイは減収も利益確保
 - ✓ 中国は代理店への移行により拠点管理コスト改善

■ 金型製造事業

- 2016年下期の受注状況が低調に推移したことが影響し、好調であった前年同四半期との比較では減収減益。ただし業績は想定通りの推移

業績概要

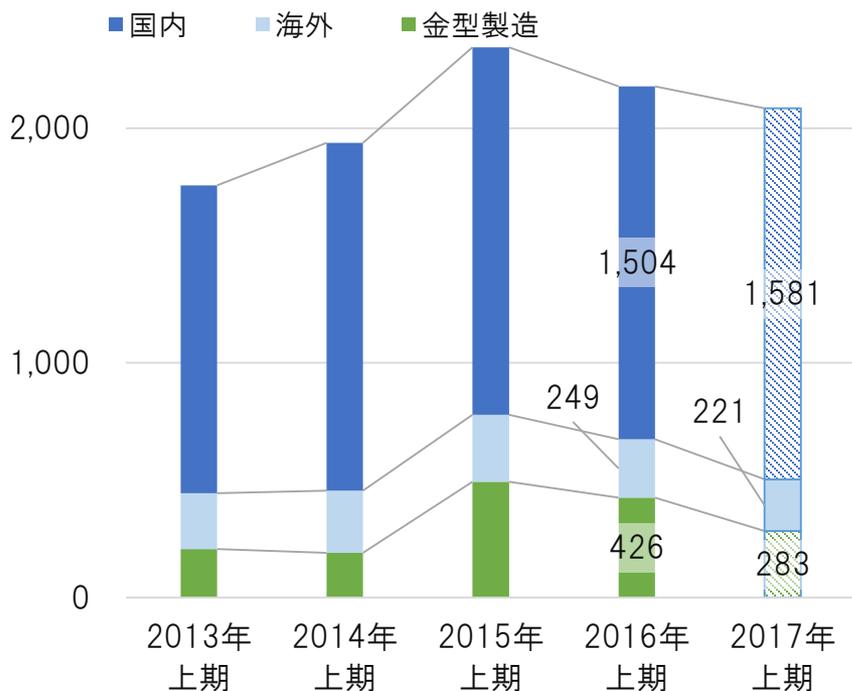
(単位:百万円)

| | 2017年 上期実績 | 構成比 | 2017年 上期計画 | 計画比 | |
|----------------------|---------------|--------|---------------|-------|--------|
| | | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 2,087 | 100.0% | 2,121 | △34 | △1.6% |
| 営業利益 | 233 | 11.2% | 210 | +23 | +11.1% |
| 経常利益 | 257 | 12.3% | 235 | +21 | +9.2% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 143 | 6.9% | 113 | +30 | +26.7% |
| | | | 2016年 上期実績 | 前年同期比 | |
| | | | | 増減額 | 増減率 |
| | | | 2,179 | △92 | △4.2% |
| | | | 225 | +8 | +3.6% |
| | | | 241 | +16 | +6.8% |
| | | | 137 | +6 | +4.7% |

| | | 2016年 第2四半期末 | 2017年 第2四半期末 | 前年同四半期末 との 差異割合(%) |
|-----------|-------|-----------------|-----------------|--------------------------|
| 為替 レート | ドル | 102.91円 | 112.00円 | 108.8% |
| | パーツ | 2.93円 | 3.29円 | 112.3% |
| | カナダドル | 79.57円 | 86.26円 | 108.4% |

事業セグメント別売上高の推移(仕向地別)

(百万円)

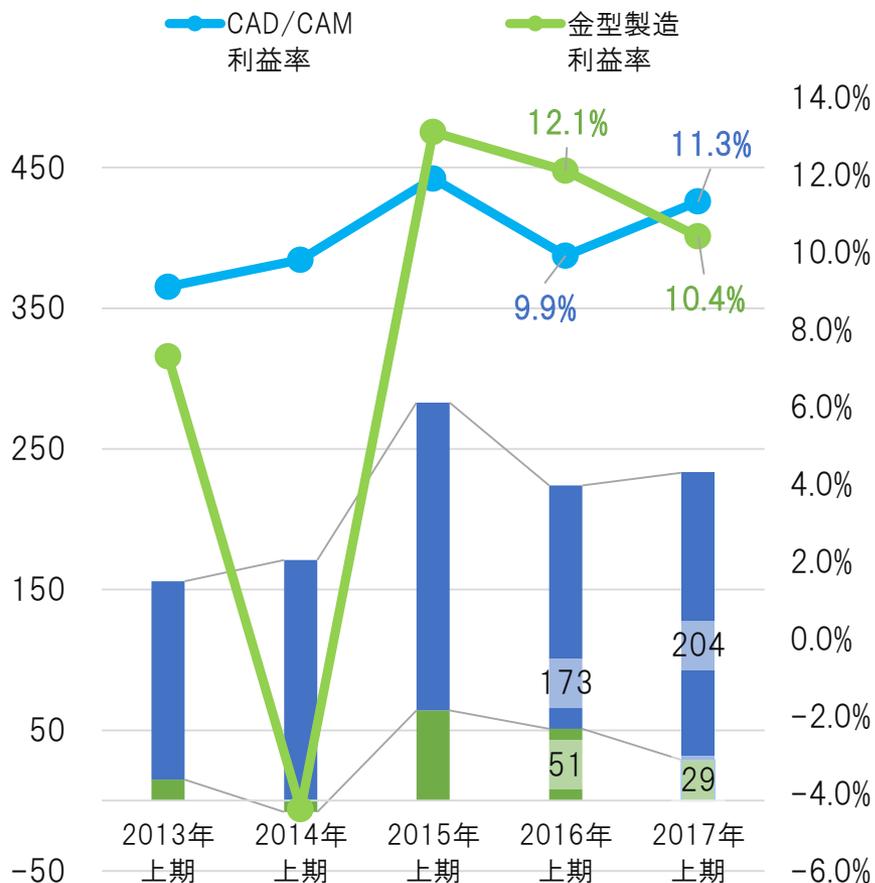


(1~6月)

| 売上高 (百万円) | 2016年 上期 | 2017年 上期 | 構成比 | 前年同期比 | |
|--------------|-------------|-------------|-------|-------|--------|
| | | | | 増減額 | 増減率 |
| CAD/CAM | 1,753 | 1,803 | 86.4% | +50 | +2.9% |
| 国内 | 1,504 | 1,581 | 75.8% | +77 | +5.2% |
| 海外 | 249 | 221 | 10.6% | △27 | △11.0% |
| 金型製造 | 426 | 283 | 13.6% | △143 | △33.6% |
| 合計 | 2,179 | 2,087 | 100% | △92 | △4.2% |

事業セグメント別利益の推移

(百万円) ■ CAD/CAMシステム等 ■ 金型製造



| 科目 | 2016年 上期 【実績】 | 2017年 上期 【実績】 | 前年同期比 | |
|---------|---------------------|---------------------|-------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| CAD/CAM | | | | |
| 売上高 | 1,753 | 1,803 | +50 | +2.9% |
| 営業利益 | 173 | 204 | +30 | +17.5% |
| 営業利益率 | 9.9% | 11.3% | | |
| 金型製造 | | | | |
| 売上高 | 426 | 283 | △143 | △33.6% |
| 営業利益 | 51 | 29 | △22 | △43.1% |
| 営業利益率 | 12.1% | 10.4% | | |
| 合計 | | | | |
| 売上高 | 2,179 | 2,087 | △92 | △4.2% |
| 営業利益 | 225 | 233 | +8 | +3.6% |
| 営業利益率 | 10.3% | 11.2% | | |

財務状況

■ 自己資本比率52.2%

【2016年12月期 期末】



総資本合計 42億99百万円
自己資本比率 52.8%

【2017年12月期 第2四半期】



総資本合計 44億54百万円
自己資本比率 52.2%

主な要因

資産項目：現金及び預金+1億77百万円、受取手形及び売掛金△42百万円

負債項目：前受金+1億26百万円

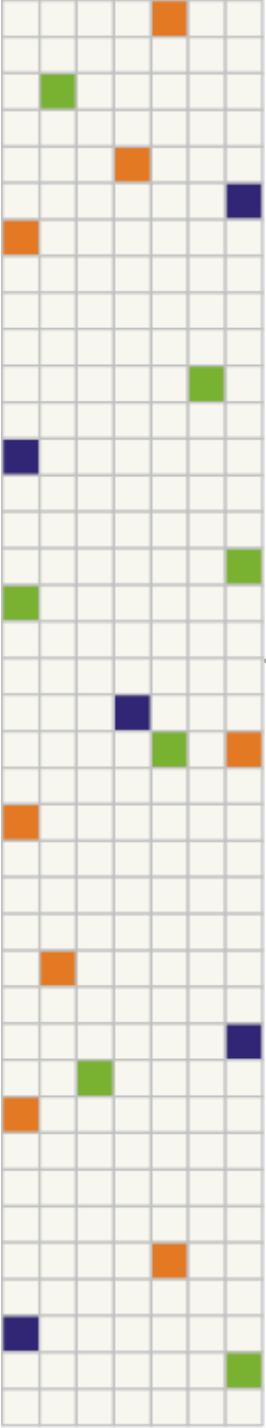
キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

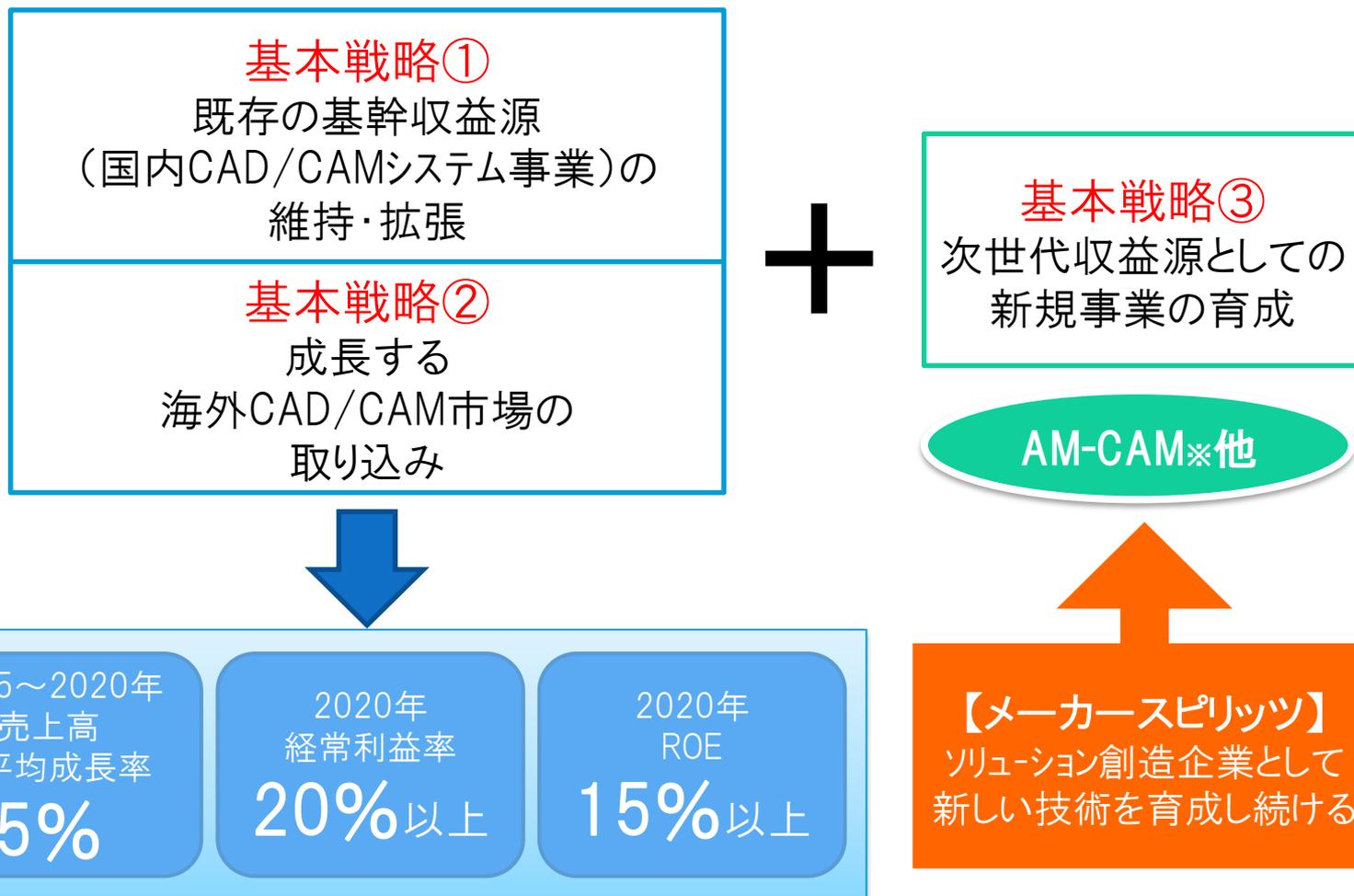
| | 2016年 上期 | 2017年 上期 | コメント |
|----------------------|-------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 299 | 366 | <ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前当期純利益2億57百万円:各事業の利益貢献 その他の主な内訳:(増加)減価償却費79百万円 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | 1 | △26 | <ul style="list-style-type: none"> (増加)定期預金の払戻による収入117百万円 (減少)定期預金の預入による支出95百万円、無形固定資産の取得による支出33百万円、保険積立金の積立による支出3百万円 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △117 | △130 | <ul style="list-style-type: none"> (減少)配当金の支払額1億29百万円:2016年度期末配当10円 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △36 | △11 | |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 146 | 198 | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,496 | 1,828 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,643 | 2,026 | |
| フリーキャッシュフロー | 300 | 339 | |

※フリーキャッシュフロー＝営業活動CF＋投資活動CF

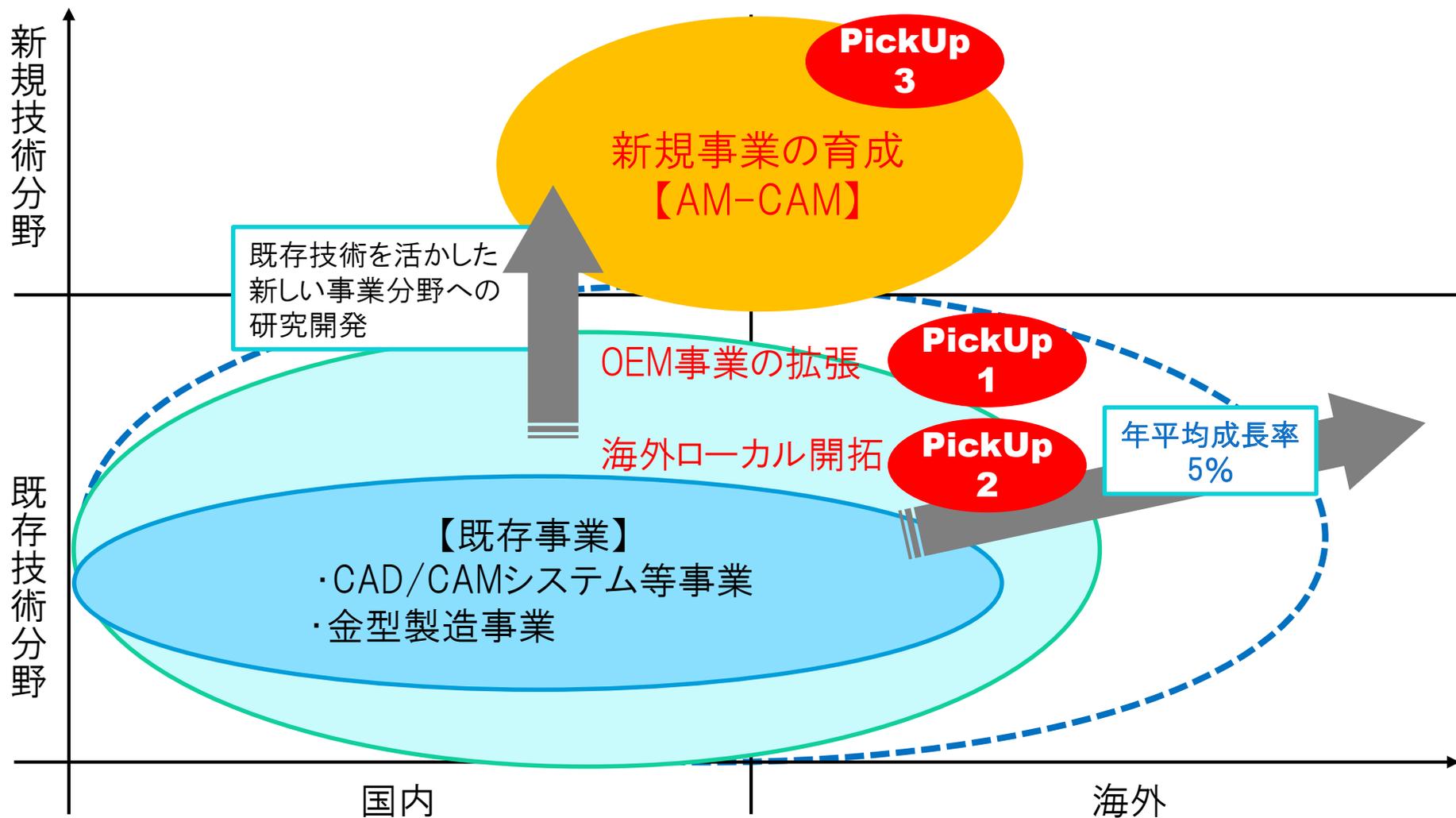
3. 中長期事業方針の進捗状況



中長期事業方針

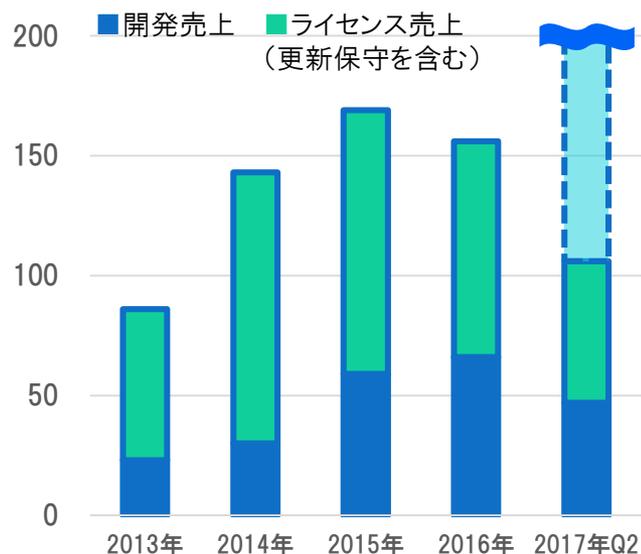


中長期の方向性



OEM事業について

■ OEM製品 売上の推移 (単位:百万円)



■ 現在の対象市場

試作市場向け

…試作加工機向け専用CAMの提供

金属加工市場向け

…工作機械メーカー、工具メーカー、
CAD/CAMシステムメーカー等への専用CAMの提供

研削盤市場向け

…研削盤メーカー等へ専用CAMの提供

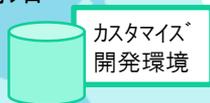
- 開発売上だけでなくその後のライセンス売上への移行が重要
→金属加工市場では堅調にライセンス売上を伸ばしているものの研削盤市場で苦戦
- ライセンス販売が一巡している製品については、引き続き機能追加等によるテコ入れを実施
- 本年度においても新規OEM製品を受注、下期に開発を実施予定

海外CAD/CAM事業の状況

**PickUp
2**

韓国

- 代理店へのAPI公開によるカスタマイズ環境整備を開始
- 自動化ニーズは多く長期的に支援を継続



中国

- TCから代理店に販売・サポートを移管
- 拠点管理コスト減少により利益率向上



北米

- 生産財メーカーとの関係強化による案件創出および成約率向上

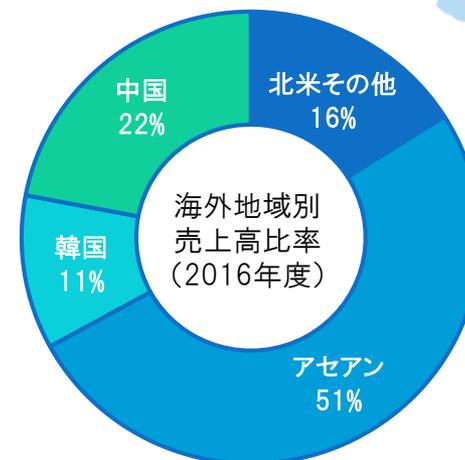


アセアン

- タイでのローカル企業向け販売強化
- ベトナムでの日系企業およびローカル企業の並行した販路拡大



FC: 専門代理店
HQ: ヘッドクォーター



中国およびアセアンでのローカル企業販路拡大が鍵

積層加工技術による新規事業開拓

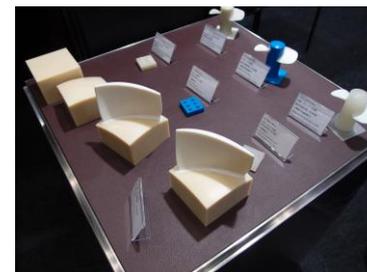
PickUp
3

3Dプリンタ(積層造形)関連事業の育成

■ 積層造形に5軸切削加工技術を組合せた新技術「AM-CAM」

樹脂系

- 工作機械メーカー、大学との産学連携で研究を開始
- 機能開発と並行し、展示会への出展等を通じ市場ニーズ調査を継続



金属系

- TRAFAM(技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構)に参画
- 当社が蓄積したFDM方式(熱溶解積層法)でのCAM開発のノウハウを用い、粉末金属積層方式のCAM開発に参入



4. 2017年12月期通期業績見通し

通期の見通し

- 国内: 企業の業績回復を背景に国内製造業は堅調に推移する見込み
- 海外: IT投資への需要の拡大等を背景に、緩やかな回復基調が続く見込み

市場環境の変化(+)

(国内)

- 企業の業績回復を背景に設備投資は堅調に推移する見込み

(海外)

- 【米国】自動車業界は米系メーカーを中心に好調
- 【中国】スマホ関連を中心に幅広い業種で製造業が好調に推移
- 【アセアン】ベトナムが日系・ローカルともに製造業が活発化

市場環境の変化(-)

(国内)

- 世界経済の鈍化による影響(東アジアの地政学的リスク、欧米の政治動向等)

(海外)

- 【米国】大統領交代後の政権運営による不透明感は継続
- 【韓国】地政学的リスクにより中国での自動車販売が低調、内需も低迷
- 【タイ】緩やかな成長が継続

2017年の取り組み

■ 国内CAD/CAMシステム事業

- 高い保守更新率の維持によるストック売上のさらなる向上
- オリジナル製品・オプション製品のさらなる販売強化
- 生産財メーカーとの協力関係を維持・強化

■ 海外CAD/CAMシステム事業

- 地域別管理体制の確立(アセアン/東アジア/北米)
- 中国代理店の立ち上げ
- 韓国でのAPI公開による製品カスタマイズ立ち上げおよび横展開の開始

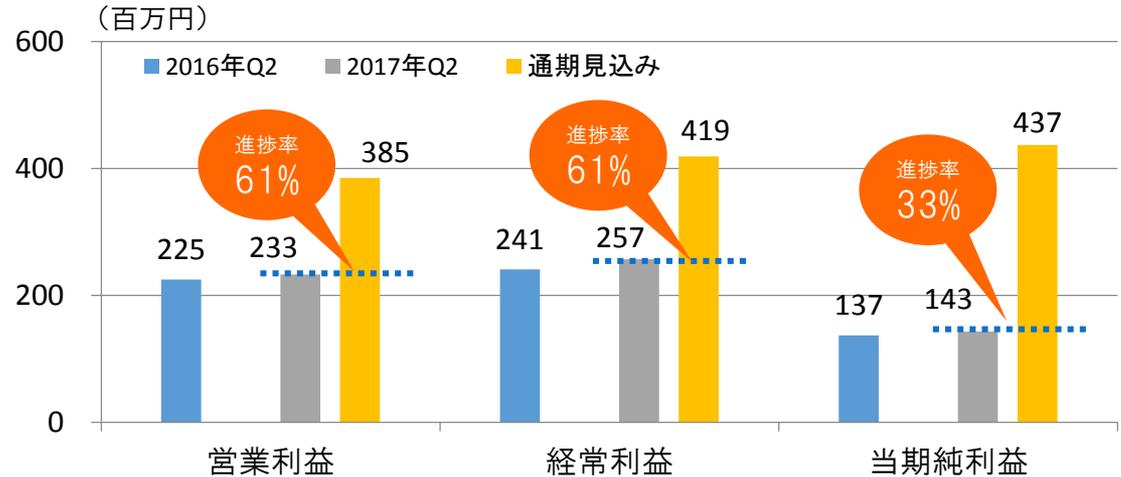
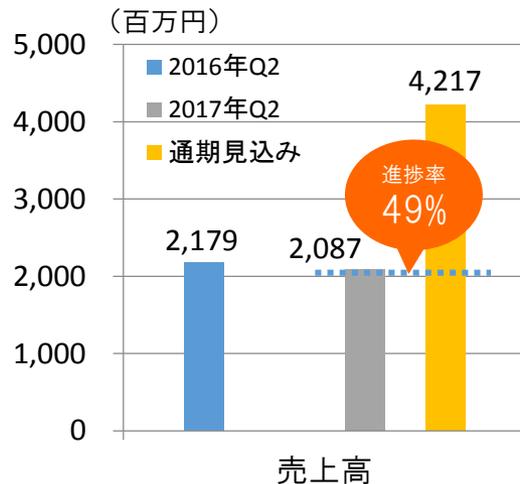
■ OEM事業/新規事業

- 国内外のOEM先の開拓・開発を継続(切削CAM系/研削CAM系/放電CAM系)
- 5軸FDM商品化および金属積層向けAM-CAMの確立に向け研究開発を継続

上期からの活動を継続

2017年12月期第2四半期の進捗状況

| (単位:百万円) | ①2016年 上期 | ②2017年 上期 | 前年同期比 | ③2017年 通期見込み | 予想に対する進捗率 (②÷③) |
|----------|--------------|--------------|-------|-----------------|--------------------|
| 売上高 | 2,179 | 2,087 | △92 | 4,217 | 49% |
| 営業利益 | 225 | 233 | +8 | 385 | 61% |
| 経常利益 | 241 | 257 | +16 | 419 | 61% |
| 純利益 | 137 | 143 | +6 | 437 | 33% |

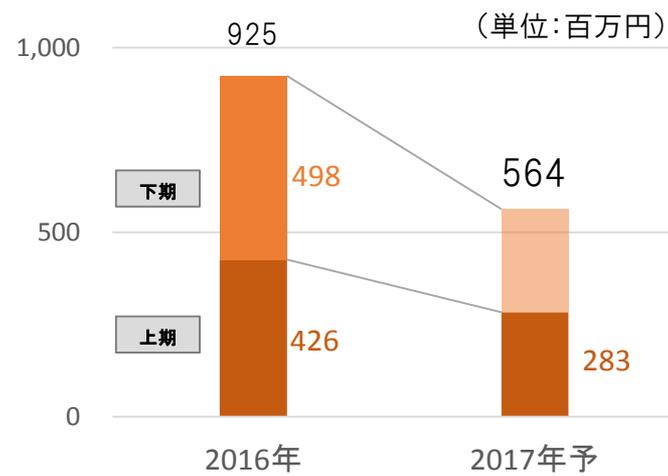
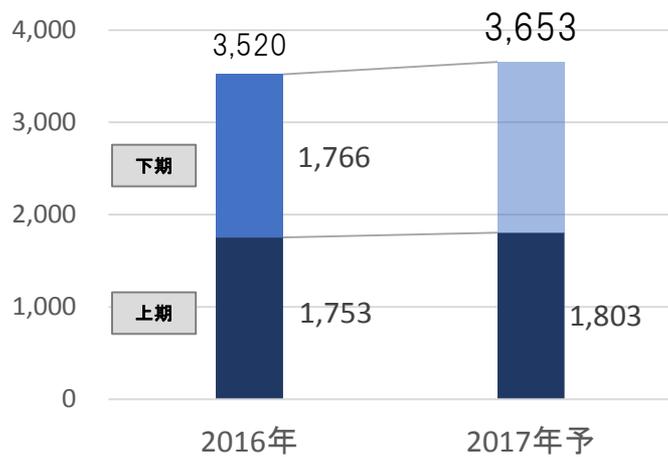


売上高はほぼ50%の進捗率、営業利益・経常利益は6割を超えて進捗
純利益は期末に繰延税金資産の回収可能性を見直す見込みのため、下期偏重の予想

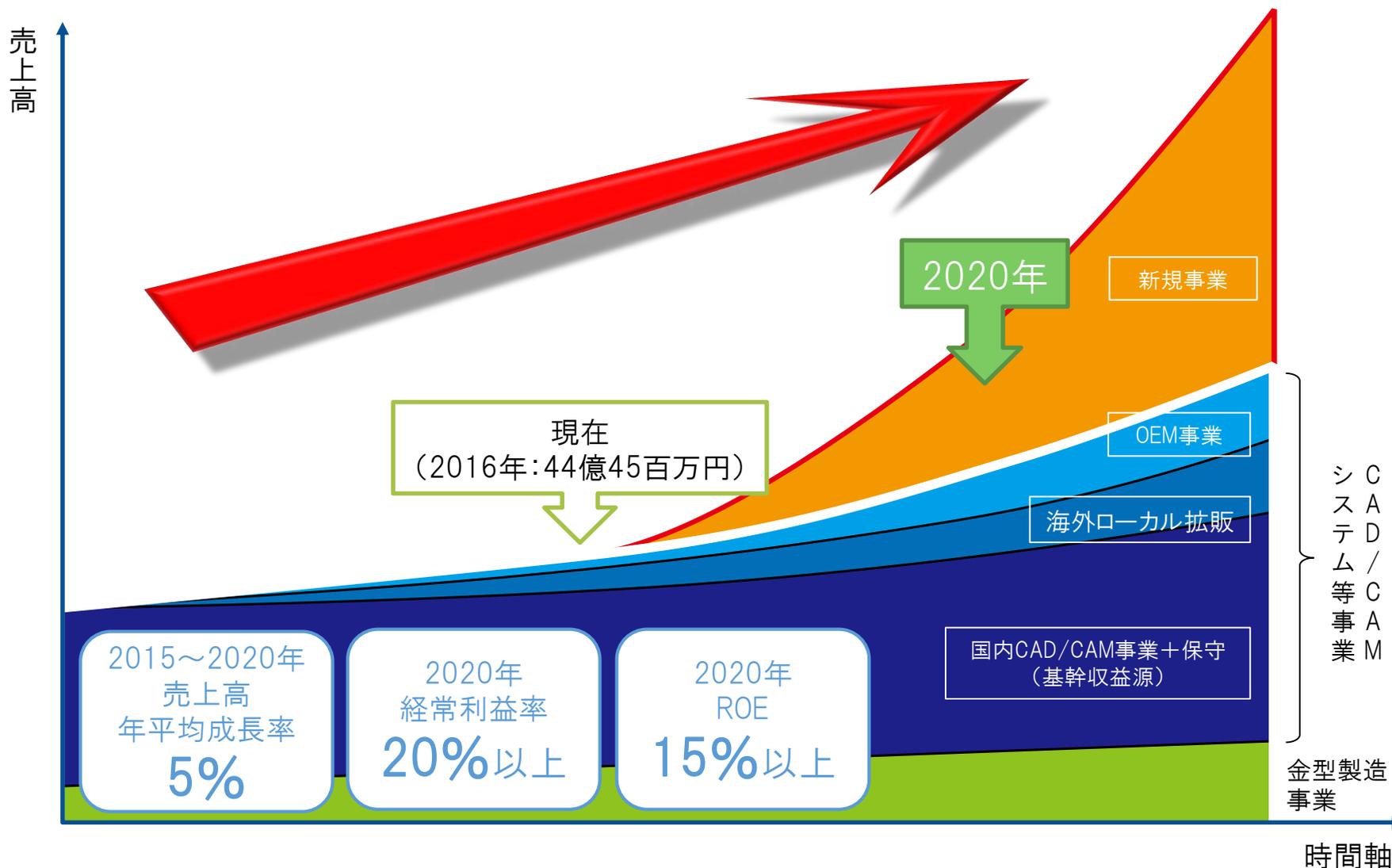
連結セグメント売上予想

| 【通期】 | 16/12期実績 | 17/12期予想 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
|---------|----------|----------|--------|------|--------|
| CAD/CAM | 3,520 | 3,653 | 86.6% | +133 | +3.8% |
| 金型製造 | 925 | 564 | 13.4% | △360 | △39.0% |
| 合計 | 4,445 | 4,217 | 100.0% | △227 | △5.1% |

(単位:百万円)



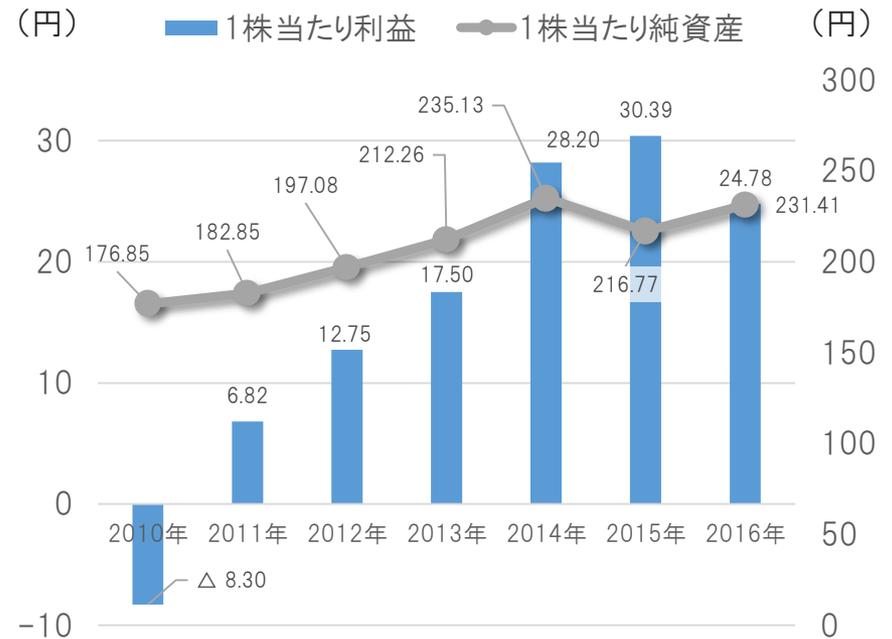
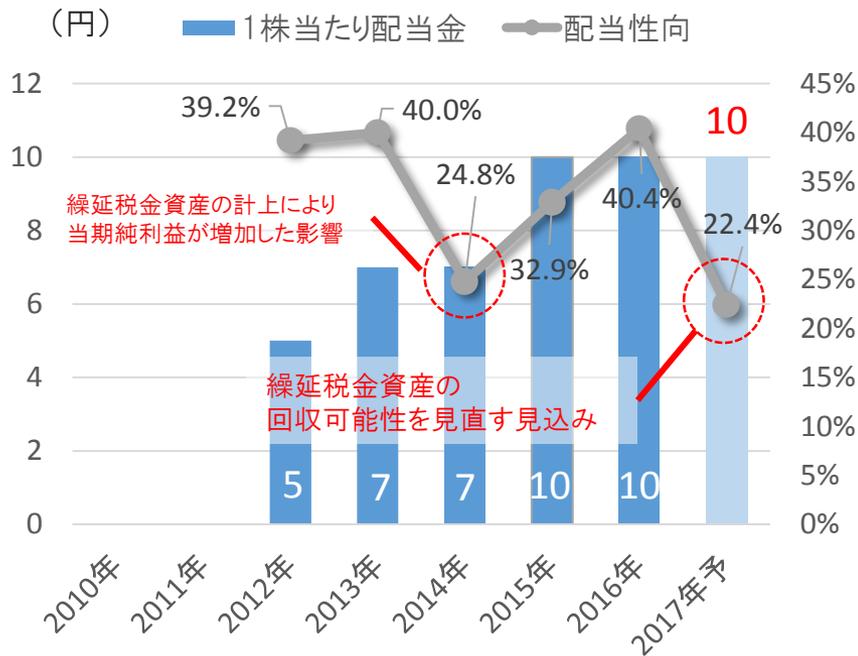
今後の成長イメージ (現有事業の拡張+新規事業)

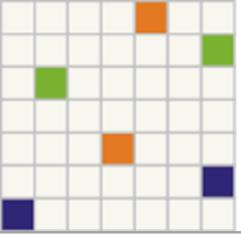


5. 株主還元について

配当について

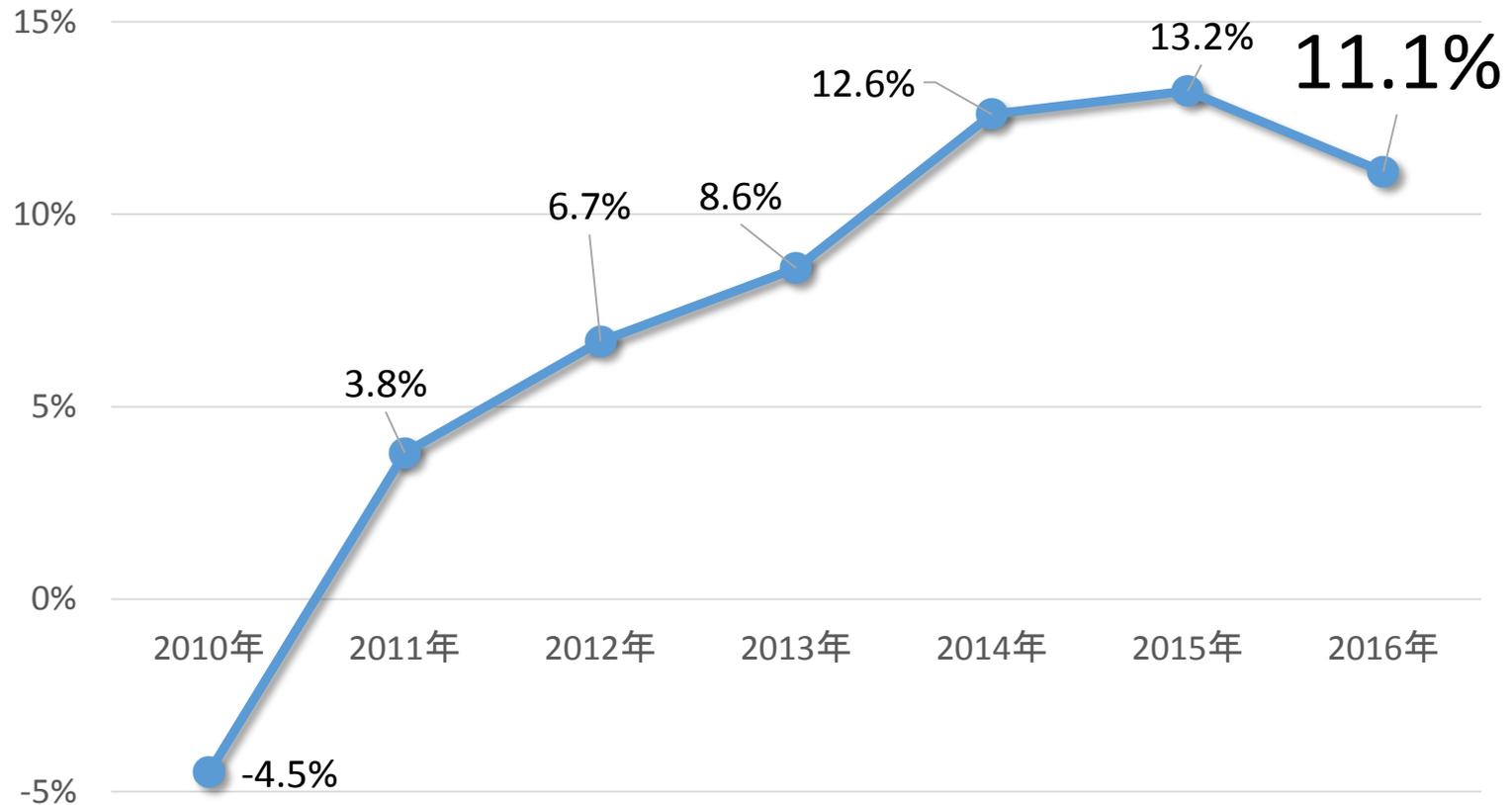
■ 業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す





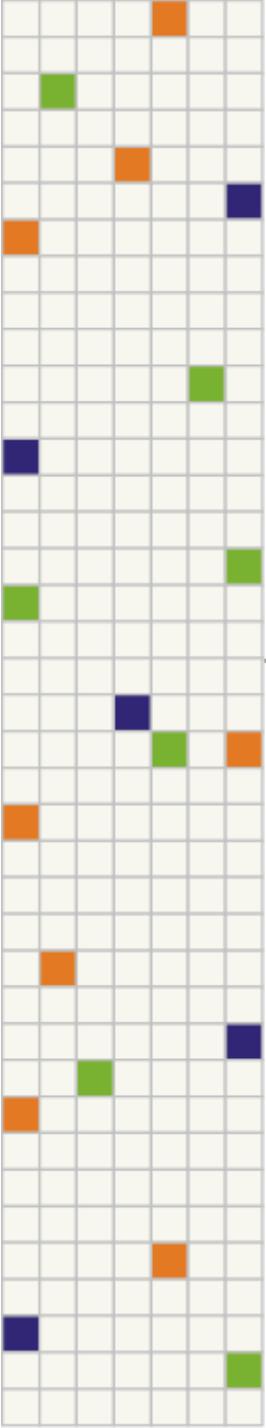
(ご参考)ROEの推移

■ 収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す



(ご参考) 専門用語集

| 用語 | 意味 |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AM-CAM | AM=「Additive Manufacturing(積層造形法)」、いわゆる3Dプリンタなどの「付加加工」を実現するためのCAMシステム。製品の加工法は、「付加加工」に加え、マシニングセンタなどの「除去加工」、金型などによる「成型加工」に大別される。 |
| API | API=「Application Programming Interface」。すでにある機能呼び出すための関数。従来のソフトウェア開発ではプログラムを一からコーディングしていたが、APIを利用してプログラムをすることによって容易にカスタマイズ等ができるようになる。 |
| NCデータ | NC=「Numerical Control」。マシニングセンタなど工作機械を動作させるための数値制御データのこと。 |
| CAD/CAMシステム | CADとは、どんな製品を作るか、コンピュータ上で設計を支援するためのツール。また「金型用CAD」とは、製品設計データを元に、強度計算や冷却水の経路、高い精度と高度な品質が要求される金型の設計を支援するツール。 CAMとは、CADで作成されたデータを加工用の「NC[Numerical Control]データ」という数値データに変換し、工作機械に渡すためのツール。カッターパスの正確さ、効率性は、CAMソフトウェアの性能により、大きく異なる。 CAD/CAMとは上記の2種類の機能を持ち合わせたソフトウェアのこと。 |
| 研削盤 | 高速に回転する研削砥石を用いて、その砥石を構成する極めて硬い微細な砥粒によって加工物をわずかずつ削り取ってゆく精密仕上げ加工を行う工作機械。 |
| サーフェイス/ ソリッド | サーフェイスとは、3次元コンピュータグラフィックスの立体表現手法のひとつ。ワイヤーフレームに面データが加わったもの。中身が詰まっていない、風船、張り子のようなイメージ。 対してソリッドは、サーフェイスモデルに物質の表裏や材質、重さなどの実体情報が加わったもの。粘土細工のイメージ。 |
| ストック売上 | 保守契約によるCAD/CAMシステムの利用支援、機能改良版提供の対価として、恒常的な売上が月次または年次で計上される。 |
| ○軸 | 2軸半加工:2軸加工(平面的な輪郭加工や領域加工、穴あけ加工等)に、側面から見た形状の情報を付加する加工方法。 3軸加工:XYZ軸の3軸で同時に行う加工する方法。自由曲面を含む加工が可能となる。 5軸加工:XYZ軸に、回転軸を2つ加えて行う加工。3軸加工と比較し、連続した曲面のアンダーカット(そのままでは型が抜けない形状)を加工する場合や側面などの加工をする場合に有効。 |

A vertical decorative element on the left side of the page, consisting of a grid of small squares. Some squares are colored in blue, green, orange, and dark blue, while others are white. The pattern is irregular and spans the entire height of the page.

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したのですが、
その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において
入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(お問合せ先)

株式会社C&Gシステムズ 管理部総務課 IR担当

E-mail : cgs_ir@cgsys.co.jp